

株主の皆様へ

2019年4月期(第2四半期)

2018年5月1日～2018年10月31日



 伊藤園
自然が好きです。

目次

- 1 ごあいさつ
- 2 営業の概況
- 3 特集「リーフ事業の歩み」
- 5 TOPICS
- 6 会社情報/株式の状況/新商品のご紹介

ごあいさつ



代表取締役社長
本庄 大介

株主の皆様には、平素より格別のご愛顧とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、伊藤園グループの2019年4月期第2四半期(2018年5月1日から2018年10月31日まで)の営業の概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当第2四半期における日本経済は、企業収益や雇用情勢の改善などにより、景気の緩やかな回復が続きました。一方飲料業界では、根強い節約志向の継続により、事業環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは経営理念であります「お客様第一主義」のもと、当社グループを取り巻く全てのお客様に対し「お客様が今でもなお何を不満に思っているか」を常に考え、一丸となって積極的な事業活動を行ってまいりました。

株主の皆様におかれましては、変わらぬご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2019年4月期第2四半期の業績について

茶葉(リーフ)製品につきましては、昨年に続き本年も10月1日「日本茶の日」に合わせて、当社社員による日本茶の魅力をお伝えする催し「お茶をたのしむ わくわく大茶会」を全国の量販店などで一斉に開催いたしました。また開催地によっては、「おいしいお茶のいれ方セミナー」や「抹茶アート」なども実施いたしました。このような活動を通して、日本茶の魅力をお伝えし、日本茶リーフ市場の活性化を図ってまいりました。

飲料(ドリンク)製品につきましては、本年5月に発売いたしました、フレッシュでやわらかな味わいの新しい緑茶飲料「お〜いお茶 新緑」が発売約3カ月で販売数量100万ケースを突破するなど、多くのお客様に高い評価をいただいております。また、ノンカフェイン茶系飲料No.1の「健康ミネラルむぎ茶」においては、無糖、カフェインゼロ、カロリーゼロで水分・ミネラルを手軽に補給できる飲料として、スポーツ時にもより多くのお客様にご愛飲いただいております。コーヒー飲料の「TULLY'S COFFEE」は、最高の一杯を追求するタリーズのバリスタが監修したプロフェッショナルクオリティーの飲料として成長を続けており、お客様の多様な嗜好に沿った製品展開をし、更なる強化を図ってまいります。

海外においては、茶葉(リーフ)製品につきまして、「グローバルブランド」で展開する「MATCHA GREEN TEA」の積極的な販売を継続して行ってまいりました。飲料(ドリンク)製品につきましても、和食や抹茶の世界的ブームや健康志向の高まりを背景に、無糖茶飲料が順調に売上を伸ばしております。

タリーズコーヒー ジャパン(株)におきましては、新規出店も順調に進み、総店舗数は720店舗となりました。引き続き積極的な投資とあわせて既存店舗の改装などによる活性化を図り、店舗競争力を強化することで、スペシャルティコーヒーショップとしての更なるブランド強化を図ってまいります。また、チチヤス(株)とは共同開発によるブランドシナジーを拡大し、ネオス(株)とは自動販売機事業において継続的に収益性を高める基盤づくりを行ってまいりました。

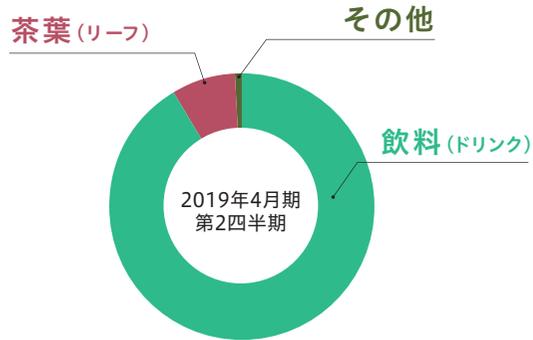
この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,754億68百万円(前年同期比3.6%増)、営業利益132億12百万円(前年同期比8.9%減)、経常利益138億19百万円(前年同期比5.4%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は86億98百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

当社グループは、世界のティーカンパニーを目指し、国内外において当社の強みを最大限に活かし、世界に健康で豊かな食生活への新たな価値を提供していきます。「伊藤園」から世界の「ITO EN」として、「お茶といえば伊藤園」と広く認知していただけるよう、更なるブランドの確立を目指してまいります。



営業の概況

伊藤園(単独)の売上は、前年同期比4.5%増の2,177億25百万円となりました。
カテゴリー別の内訳は下記のとおりです。



飲料(ドリンク)

構成比 ▶ 91.4%
売上高 ▶ 1,990億13百万円
前年同期比 ▶ +4.7%



茶葉(リーフ)

構成比 ▶ 7.8%
売上高 ▶ 169億2百万円
前年同期比 ▶ +2.8%



その他

構成比 ▶ 0.8%
売上高 ▶ 18億10百万円
前年同期比 ▶ +1.0%



連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 2017年5月1日~ 2017年10月31日	当第2四半期累計期間 2018年5月1日~ 2018年10月31日	増減率
売上高	265,883	275,468	3.6%
売上原価	139,644	145,957	4.5%
売上総利益	126,238	129,511	2.6%
販売費及び一般管理費	111,742	116,299	4.1%
営業利益	14,496	13,212	△ 8.9%
経常利益	14,603	13,819	△ 5.4%
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,246	8,698	△ 5.9%

連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	資産の部		負債・純資産の部	
	流動資産	固定資産	負債	純資産
2018.4.30	301,167	170,838 (56.7%)	130,329 (43.3%)	170,838 (56.7%)
2018.10.31	306,172	177,345 (57.9%)	128,826 (42.1%)	177,345 (57.9%)
2018.4.30	301,167	170,838 (56.7%)	130,329 (43.3%)	170,838 (56.7%)
2018.10.31	306,172	177,345 (57.9%)	128,826 (42.1%)	177,345 (57.9%)

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位:百万円)

期首残高	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	期末残高
2018.5.1	61,376	12,138	△5,049	60,435
2018.10.31	61,376	12,138	△5,049	60,435

(注) 現金及び現金同等物に係る換算差額については記載を省略しております。
それにより生じるグラフの誤差については調整しております。

1株当たり配当金

※見直し

	2018年4月期		2019年4月期	
	普通株式	優先株式	普通株式	優先株式
1株当たり配当金(円)	20	25	20*	25*
中間	20	25	20*	25*
期末	20	25	20*	25*
年間	40	50	40*	50*

売上高

(億円)



営業利益

(億円)



経常利益

(億円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(億円)



常に新しい切り口で リーフ業界を牽引してきた伊藤園

伊藤園のリーフ事業は、業界の中でも常に先進的な取り組みを続けています。

1960年代、お茶は街の小売店での量り売りが中心でしたが、

伊藤園はスーパーマーケットなどでも鮮度のよいお茶が買えるようにパック茶を発売するとともに、商品に名前を付けてブランド化を図りました。

また、鮮度のよいお茶をご賞味いただくため、業界に先駆けて賞味期限を表示。

現在でも、常に新しい切り口でリーフ業界を牽引し、リーフ市場が縮小するなかでも順調に伸長を続けています。

本特集では、このようなリーフ事業の歩みと、これからに向けた取り組みを紹介します。



2016年

独自開発したティーバッグ専用原料を使用した製品を発売



1996年

スプレードライ製法による初のインスタント製品を発売



2008年

フック用に穴の開いたチャック付きスタンドパック製品を発売(50g入りミニパック製品に採用)



1995年

ティーバッグの個包装に「伊藤園お〜いお茶新俳句大賞」入選作品を掲載開始



2007年

「三角ナイロンバッグ」を使用した高品質ティーバッグ製品を発売



1988年

裏千家今日庵鵬雲齋宗匠から茶銘を受け、家元御好の抹茶製品を発売



1982年

有機肥料による栽培技術を確認。リーフ業界で初めて「製造年月日」「賞味期限」を表示



1979年

日本初の烏龍茶輸入代理店契約を締結



1977年

直営専門店第1号「茶十徳 日吉店」



1970年代

リーフ業界初のTV-CM放映



1972年

真空処理・二重包装した画期的な真空パック茶「明石」などが並ぶ当時の売り場



1965年

「静岡茶」「宇治茶」など産地名で呼んでいたリーフ製品が多いなか、ブランド化したリーフ製品「深緑」を発売



1968年

リーフ業界で売上高トップに

リーフ事業でめざす未来



国内におけるリーフ市場全体の伊藤園シェアはトップですが、わずかに十数%です。リーフの販売は小規模なお茶屋が多く、シェアのパーセンテージが少なくても上位になります。

リーフ市場では、年々ティーバッグやインスタント(粉末タイプのもの)など簡便性商品の割合が伸びており、ティーバッグに限った市場では伊藤園のシェアは約40%、インスタント市場のシェアは約60%です。市場動向よりも早期に、お客様の環境変化、構造変化に対応したことで事業を拡大できたと考えられます。一方で、訪日外国人のお土産として抹茶関連商品の需要も伸びています。

伊藤園のリーフ事業の強みは、国内荒茶生産量の約25%を仕入れる調達力と多岐にわたる商品開発力です。また、ドリンク事業で使用している茶葉では、九州で展開している茶産地育成事業(新産地事業)の茶畑を中心にドリンク専用茶葉の品質を追求しています。伸長しているティーバッグやインスタント製品でも品質を高めていくために、さらに一歩踏み込んだ専用原料をつくらうと、契約茶園で茶葉の栽培から加工まで一貫して行っています。

伊藤園では、急須のない家庭が増えるなか、スタイリッシュで使いやすい「理想の急須」のプレゼントキャンペーンや、ティーテスターによる「伊藤園 大茶会」などの実施で、季節に応じたおいしいお茶のいれ方など、お茶の楽しみ方をご提案しています。また、伊藤園が制定した「日本茶の日」の定着やお茶の健康効果、お茶に合うフードペアリングの提案についても、より広く伝えることで、日本の茶文化と、その魅力を国内外に向けて発信してまいります。



伊藤園から「ITO EN」へ

世界シェアの拡大を目指して

「第2回“日本の食品”輸出EXPO」に出展



10月10日(水)から12日(金)にかけて、千葉県千葉市にある「幕張メッセ」で開催した海外バイヤー向けの食品展「第2回“日本の食品”輸出EXPO」にて、約300ある出展社の中でも最大規模の出展ブースで「ITO EN」ブランドを世界に発信しました。

和食のユネスコ無形文化遺産登録や訪日外国人の増加などを背景に、日本の食文化である“緑茶”への関心が高まり、2017年の輸出量は4,642トンと過去最高を記録し、前年比13%増で伸長をしております(財務省貿易統計)。また抹茶需要の高まりで、抹茶ラテやスイーツに抹茶を使う動きも広がっており、当社の海外向け抹茶の販売状況も3年で約3倍に増加しています。

今後とも、日本国内で生産される緑茶(荒茶)の約25%を取り扱う「お茶の伊藤園」として、お茶の魅力を国外に向けて発信し、「世界のティーカンパニー」を目指した取り組みを行ってまいります。

TOPICS

海外では、リーフ製品と呼ばれるような茶葉をポットで飲む文化はほとんどなく、ティーバッグ製品が主流です。

日本では抹茶入りの緑茶が当たり前になっていますが、海外では抹茶はスーパーフード。緑茶と抹茶は別物とされているため、最初は抹茶入りの緑茶に驚かれます。加えて、抹茶は飲むのではなく料理などに使うものとして、販路も従来は小売店が中心でしたが、フードサービスや食品メーカーにも拡大しています。



海外で展開している抹茶製品

健康価値を生み出す研究

抹茶の継続摂取で中高年の認知機能を改善



認知機能は、加齢と共に低下すると言われており、中高年の頃から物忘れが気になる等の自覚症状が現れ始めるなど、物事を迅速に判断して実行する能力が低下してくると言われています。

当社は、抹茶の摂取が中高年者の認知機能にどのような影響を及ぼすのか比較試験を行った結果、

抹茶2gを12週間継続摂取すると、物忘れが気になる健常中高年者の実行機能や注意機能が改善することを確認しました。

今後も抹茶摂取による認知機能低下の抑制について研究を進め、社会問題化する認知症の予防に貢献することを目指します。

黒酢の摂取による疲労感軽減効果を科学的に検証

近年、健康価値への関心の高まりから、お酢は日常生活や運動後の疲労感を軽減したい方々が好んで飲用されるなど、飲料として希釈して飲まれるようになってきました。

当社は、黒酢配合飲料を用いて科学的な検証を行った結果、黒酢飲料の継続摂取が運動後の疲労感を軽減することを臨床試験で確認しました。

今後は、今回確認した疲労感軽減効果のメカニズムに関する研究を進めるとともに、健康価値の解明およびその活用方法の提案を行っていきます。



さんせんちゃもく

「山川茶木 ITO EN」阪急うめだ本店に初出店

OPEN

阪急うめだ本店(大阪府大阪市)に初出店となる「山川茶木 ITO EN」は、個性を楽しめる九州で育ったシングルオリジン(単一品種・単一生産者)の茶葉を中心に作り揃えた直営店舗です。“あらゆる自然”という意味を持つ山川草木(さんせんそうもく)という言葉に“茶”を組み合わせ、雄大な自然が広がる九州で育った茶葉をお届けしたいとの思いで、お茶の楽しみ方を積極的にお伝えしていきます。



自宅でもっとコーヒーを楽しむために「タリーズコーヒースクール」開催

タリーズ

タリーズコーヒージャパンでは、10年以上前から全国の店舗でコーヒースクールを開催しています。現在では年間約3,000回全国で開催しており、コースは基礎編が3コース、他にもプレミアムビーンズコースといった特殊なコースも随時開催しています。

基礎編ではおいしいコーヒーの淹れ方や、産地の違うコーヒーのテイスティングといった基本的な講座の他に、2018年11月に「カップリング※講座」を設けました。コーヒー豆の風味をダイレクトに楽しんだり、抽出器具ごとにコーヒーの味を比べてみたり、ワンランク上のコーヒー体験ができるコースです。すべてのコースが少人数での開催ですので、どうぞお気軽にご参加ください。

※ カップリング：「豆」そのものの風味や品質を評価する手法



お申込方法、詳細についてはタリーズコーヒージャパンのホームページをご覧ください ▶ <https://www.tullys.co.jp/school/>



渋谷ロフトにて「チチヤス・チー坊フェア」開催

チチヤス

9月26日(水)～10月2日(火)の7日間、渋谷ロフト(東京都渋谷区)にて「チチヤス・チー坊フェア」を開催しました。広島県内にあるアンテナショップ「CHICHI YASU」で販売しているチー坊グッズたちが渋谷に初登場し、週末と最終日には「チー坊」も来場してフェアを盛り上げました。今後とも、東京に限らずさまざまな場所での開催を企画検討し、チー坊・チチヤスの魅力をさらに発信していきます。



また来るね!



会社情報 / 株式の状況

会社の概要 (2018年10月31日現在)

会社名 株式会社 **伊藤園**
 英文社名 **ITOEN, LTD.**
 本社 東京都渋谷区本町3丁目47番10号
 設立 昭和41年8月22日
 資本金 19,912,300,000円
 従業員数 5,331名
 URL <https://www.itoen.co.jp>
 支店、営業所及び出張所 全国30地区198拠点
 店舗 全国154店舗
 工場 静岡相良工場
 (静岡県牧之原市女神21)
 神戸工場
 (兵庫県神戸市西区見津が丘5-4-2)
 浜岡工場
 (静岡県御前崎市新野3406-4)
 福島工場
 (福島県福島市荒井北1-2-9)
 沖縄名護工場
 (沖縄県名護市伊差川112)
 研究所 中央研究所
 (静岡県牧之原市女神21)

役員 (2018年10月31日現在)

代表取締役会長 本庄 八郎
 代表取締役社長 本庄 大介
 代表取締役副社長 本庄 周介
 取締役副社長 橋本 俊治
 取締役副社長 渡辺 實
 専務取締役 社 三雄
 常務取締役 中野 悦久
 常務取締役 神谷 茂
 取締役 ヨスケ ジェイ オシャンブライト ホンジョウ
 Yosuke Jay Oceanbright Honjo
 社外取締役 田口 守一
 社外取締役 白井 祐一
 常勤監査役 高橋 實
 社外監査役 高澤 嘉昭
 社外監査役 田中 豊
 社外監査役 長澤 正浩

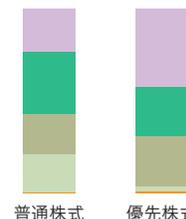
株式の状況 (2018年10月31日現在)

発行可能株式総数	200,000,000 株	
発行済株式の総数	▶普通株式	89,212,380 株
	▶優先株式	34,246,962 株
株主数	▶普通株式	44,152 名
	▶優先株式	60,275 名

所有者別株式数比率

	普通株式 (%)	優先株式 (%)
個人・その他	23.34	42.01
その他法人	33.35	26.93
外国法人等	22.25	27.09
金融機関	20.65	3.09
証券会社	0.41	0.88

(注) 自己株式は、「個人・その他」に含めて記載しております。



大株主

普通株式		
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
グリーンコア株式会社	17,403	19.51
ステートストリートバンクアンドトラスト カンパニー 505223	7,655	8.58
公益財団法人本庄国際奨学財団	5,200	5.83
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,268	3.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,492	2.79
本庄八郎	2,446	2.74
伊藤園従業員持株会	2,266	2.54
東洋製罐グループホールディングス株式会社	1,955	2.19
株式会社りそな銀行	1,933	2.17
SSBTC CLIENT OMNIBUS ACCOUNT	1,627	1.82

優先株式

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
グリーンコア株式会社	5,895	17.21
ザバンク オブ ニューヨーク 134104	3,277	9.57
公益財団法人本庄国際奨学財団	1,560	4.56
株式会社伊藤園 自己名義	984	2.88
本庄八郎	882	2.58
ステートストリートバンクアンドトラスト カンパニー 505025	820	2.40
ザバンク オブ ニューヨーク 134105	803	2.35
FCP SEXTANT AUTOUR DU MONDE	613	1.79
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	493	1.44
ザバンク オブ ニューヨーク メロン エスエーエヌブイ 10	480	1.40

新商品の
ご紹介

宇治抹茶ブランド

よもはる

「四方の春」



MATCHA
YOMONOHARU

抹茶の
新時代へ

独自の宇治抹茶新ブランド『四方の春』を立ち上げ、11月26日(月)から『四方の春』を使用した各種製品を発売いたしました。

近年、抹茶は飲用だけでなく、お菓子や料理などの原材料として使用されるなど広く普及しています。海外においても、カフェなどで抹茶を使用した数多くの商品が展開されており、また健康性から「スーパーフード」としての認知が広がりを見せるなど、国内外ともに今後も更なる市場拡大が見込まれます。こうした背景から、伊藤園は抹茶を成長事業のひとつとして位置づけ宇治抹茶の新ブランド『四方の春』を立ち上げました。

ブランド名の『四方の春』には、“新しいことの始まり”や“幸せ(おめでたい)”という意味があることから、“抹茶の新しい楽しみ方を提案したい”という想いが込められています。

『四方の春』を使用したさまざまな製品は、『四方の春』の旨みをたっぷり引き出し、まろやかな味わいに仕上げているため、抹茶の味と香りそのものをお楽しみいただけます。



株式に関する手続きについて

株式に関する手続きは、1.証券会社の口座に記録されている場合と、2.特別口座に記録されている場合で、下記のとおり異なりますので、該当の窓口にお問い合わせください。

1. 証券会社の口座に記録された株式	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿 管理人	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
	● 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

2. 特別口座に記録された株式	お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 郵送物の発送と返戻に関するご照会 ● 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ● 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 	株主名簿 管理人	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-782-031
	<ul style="list-style-type: none"> ● 特別口座から一般口座への振替請求 ● 単元未満株式の買取・買増請求 ● 届出住所・氏名等のご変更 ● 配当金の受領方法・振込先のご変更 	特別口座の 口座管理機関	

優待品のご紹介

毎年4月30日現在の株主名簿に記録された1単元(100株)以上を保有している株主の方に対し、年1回、自社製品詰合せを贈呈いたします。

普通株式または優先株式のそれぞれの保有株式数に応じ、以下のとおり贈呈いたします。 (画像は昨年7月下旬にお送りした優待品です。)

100株以上1,000株未満	1,000株以上
 <p>1,500円相当</p>	 <p>3,000円相当</p>

※ なお、株主様には、通信販売パンフレットをお送りいたします。
保有株数に応じて、掲載商品を優待割引価格にてお求めいただけます。

(注) 普通株式と優先株式の2種類の株式を保有している場合には、その合計株式数ではありません。

株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当金 4月30日 中間配当金 10月31日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告掲載方法	電子公告により行います。 (URL: https://www.itoen.co.jp) なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
お問い合わせ先	株式会社伊藤園 財務経理部 財務・IR課 電話 03-5371-7197

表紙・裏表紙には「おーい、茶」の茶殻をリサイクルした茶配合紙を使用しています。
本文(2~5ページ)には「森の町内会一岡伐に寄与する紙」を使用しています。

優先株式について

優先株式とは、普通株式に比べて利益の配当等を優先的に受け取ることができる株式です。

概要

	優先株式	普通株式
証券コード	25935	2593
議決権	なし ^(注1)	あり
配当	優先配当 普通配当額×125% ^(注2) 未払い分は累積	普通配当 累積しない
残余財産分配権	普通株式と同等 ^(注3)	-
普通株式への転換権	株主の意向による転換権はなし ^(注4)	-
単元株	100株	
株主優待	あり	

(注1) 議決権が発生する場合があります。

(注2) 小数第一位を切り上げ、ただし15円を下限とします。また普通株式への配当が無配の場合でも、優先株式に対して1株当たり15円が優先配当として支払われます。

(注3) 累積未払配当がある場合は、普通株式に先立って優先株主に不足分が支払われます。

(注4) 一定の事象により当社が普通株式を対価として、1:1の比率で優先株式を取得することがあります。

【一定の事象】

1. 当社が消滅会社となる合併、完全子会社となる株式交換、株式移転(当社単独によるものを除きます)。
2. 当社普通株式に対する公開買付により公開買付者の株券等所有割合が50%超となった場合。
3. 当社優先株式が上場廃止となった場合。

単元未満株式(1~99株)をご所有の株主様へ

当社では、普通株式・優先株式ともにご所有の株式の買取りの請求、または買増しの請求をしていただくことができる制度を導入しております。単元未満株式をご所有で、株式の売却、または買増しをご検討の株主様は、是非ご利用ください。

- ・ 具体的なお手続きに関するご照会は、お取引先の証券会社等にお問い合わせください。
- ・ 特別口座を開設された株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式に関する「マイナンバー」制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係手続が必要となります。このため、株主様から、マイナンバーをお取引先の証券会社等へお届出ください。

■ マイナンバーのお届けに関するお問い合わせ先

- ・証券口座にて株式を管理されている株主様
お取引先の証券会社までお問い合わせください。
- ・証券会社とお取引がない株主様
下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部 ☎0120-782-031

